



CONTENTS

CHAPTER 1

農林中央金庫とは

当金庫の統合報告書を読み進めていただくための予備知識として、当金庫の歩みや当金庫と密接な関わりがある系統組織の概要、そして私たちの事業領域について紹介します。



私たちの歩み	07
私たちの成り立ち	09
私たちの事業領域	13

CHAPTER 2

農林中央金庫の理念と目指す姿

当金庫が「どのような理念を持ち、どのような価値を生む組織か」、また「目指す姿は何か」について、理事長メッセージ等を通じて紹介します。



理事長メッセージ	17	パーパス実現のための重要課題(マテリアリティ)	29
CFOメッセージ	23	中期ビジョン	31
農林中央金庫の目指す姿	27	価値創造プロセス	33

コーポレートロゴ



NORINCHUKIN

農林中央金庫

農林中央金庫のロゴマークに描かれているのは、農林水産業が生まれ、数多の「いのち」がつながってきた、日本の景色そのものです。

海・大地・森の各色がひとつに混じり合うその様は、

そこにある「いのち」の息吹と、ともに歩み続ける私たち一人ひとりの、

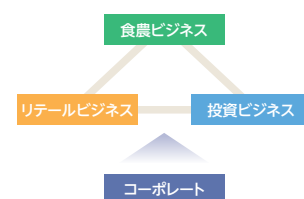
意思を表しています。



CHAPTER 3

農林中央金庫が生み出す価値

当金庫が掲げるパーパス(私たちの存在意義)のもと、中期ビジョンの実現に向けて各ビジネス領域で目指すもの、そしてその具体的な取組みについて紹介します。



食農ビジネス	37	コーポレート	
リテールビジネス	41	人材マネジメントの高度化に向けた取組み	59
投資ビジネス	45	デジタルトランスフォーメーション(DX)	67
サステナブル経営の取組み	49		

CHAPTER 4

農林中央金庫のガバナンス・データ

経営管理委員メッセージからはじまり、コーポレートガバナンスや組織データ等について紹介します。



経営管理委員メッセージ	71	コンプライアンスへの取組み	85
コーポレートガバナンス	73	サイバーセキュリティ	87
役員一覧	78	ステークホルダーコミュニケーション	89
経営管理の枠組み	83	データ集	91

編集方針

- 当金庫は、ステークホルダーのみなさまに当金庫の持続可能な価値創造に向けた取組みをご理解いただくために、このたび統合報告書を発刊しました。編集にあたっては、IFRS財団が公表した「国際統合報告フレームワーク」を参照しています。
- 本誌は、農林中央金庫法第81条に基づいて作成したディスクロージャー誌です。本誌には、当金庫の2025年3月末時点における財務状況および業績に関する実績値のほか、当金庫に関連する予想、見込み、見通し、計画、目標などの将来に関する記述が含まれています。これらの記述は、本誌の作成時点において当金庫が入手している情報に基づく予測等を基礎としています。また、これらの記述は、一定の前提(仮定)のもとになされており、これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、または将来実現しない可能性があります。当金庫は、これらの記述に対する更新の義務を負いません。
- 本誌における記載内容は、当金庫ディスクロージャーポリシーに基づき、情報開示協議会において開示の適切性を審議し、農林中央金庫法により設置が定められた経営管理委員会・理事会に報告または付議され、最終的に対外開示担当役員が決定しています。



ディスクロージャーポリシーはこちら
<https://www.nochubank.or.jp/dsclpolicy/>